

# 06' 対馬まさかりドリームス・デー

往年の名選手13名が対馬へ集合 4月23日:対馬グリーンパーク



子どもたちの心身の健全な育成と夢づくりを目的に設立された対馬市民球団による「対馬まさかりドリームス・デー」が4月23日、対馬グリーンパークで開催されました。今回は、今年新たに入団した鈴木孝政、辻発彦、屋鋪要の3選手を含む計13名のメンバーが来島。少年野球教室や、対馬中学生選抜チームとの親善試合などを行いました。会場には家族連れや野球ファンら約2,500名が詰めかけ、選手達に温かい声援を送っていました。



子ども達からハイタッチで出迎えを受ける村田兆治監督

晴天に恵まれた当日、「対馬まさかりドリームス」のメンバーは、村田監督を先頭に午前9時過ぎにグラウンドに入場。約1年ぶりに来島した選手達を対馬の野球少年達が温かくハイタッチで出迎えました。

開会行事に続き、午前10時から野球教室が開かれ、受講生達は年齢別、ポジション別に分かれて、キャッチボール等の基本動作や、守備やバッティング、走塁等に関する技術的なこと、試合に望む気持ちの持ち方など広範囲にわたって指導を受けました。さすがに球史に名を残す名選手とあって、指導方法も的確で、子どもたちも非常に勉強になった様子。短時間の指導にもかかわらずメキメキ上達していました。



多くの野球少年が、目を輝かせながら指導を受けました。プロ野球選手目指してがんばれ！



藤田 平選手(内野手)



鈴木伸良選手(捕手)



野球教室のお礼を述べる  
江口慶祐くん



田野倉利男選手(内野手)



マウンドの村田兆治監督

親善試合



中学生交流試合

諫早市立喜々津・明峰中学校連合チームと対馬中学生選抜チームとの試合



今回のまさかりドリームス・デーには、諫早市の喜々津及び明峰中学校の連合チームが招かれ、対馬の中学生選抜チームと練習試合を行いました。対馬の子ども達は、諫早の強豪チームを相手に、互角の試合を見せました。

野球教室終了後、受講者を代表して敵原ウインズキャプテンの江口慶祐くん（14歳）が「また基本を思い出すことができました。今後モレベルの向上を目指して頑張ります。ありがとうございます」と、お礼の言葉を述べました。

昼食をはさみ、午後からはホームラン競争、遠投競争のほか、対馬中学生選抜チームとの親善試合が行われました。

和やかな雰囲気の中、中学生たちは元プロ野球選手の胸を借りて、楽しくプレーしていました。村田兆治監督もリリーフでマウンドに登り、衰えを知らない剛速球と鋭く落ちるフォークボールを披露。三振の山を築きました。

試合終了後は、選手のサインボールが、観客席へ向かって投げ入れられました。

新入団メンバー紹介



俊 足  
屋 舗 要 選 手

外野手・背番号00  
(元・読売ジャイアンツ)

1959年6月11日生まれ。兵庫県出身。走って打って守れる機動力抜群の核弾頭として活躍。引退後は巨人のコーチを務める。1986年から3年連続盗塁王を獲得。また、1984年から5年連続ゴールドグラブ賞を獲得。通算安打は1146安打。



守 備 の 名 手  
辻 発 彦 選 手

内野手・背番号5  
(元・西武ライオンズ)

1958年10月24日生まれ。佐賀県出身。攻走守三拍子揃った名選手として活躍。特に華麗な守備は名人と言われた。1993年に首位打者獲得。今年のWBCでは、王ジャパンの守備コーチとして活躍。首位打者1回、ゴールドグラブ賞8回、通算安打は1452安打。



剛 速 球  
鈴 木 孝 政 選 手

投手・背番号1  
(元・中日ドラゴンズ)

1954年7月3日生まれ。千葉県出身。先発、リリーフのエースとして活躍。オールスター戦出場7回。最優秀防御率、最優秀救援投手、カムバック賞などを受賞。引退後は、中日ドラゴンズの投手コーチを務める。